

経営学の理論に基づく、組織や社会における創造と協働についての研究



商学部
経営・流通学科
教授
西村 香織

研究シーズの紹介

本研究は、経営学の視点を取り入れて、変革期にある組織・社会に必要な考え方や力とは何かについて考察することを目的としています。

経営学では、多様な考えや価値観をどのようにまとめて新たな組織や社会のあり様を築き、人々の人生の充実を実現していくのかについて、様々な理論が展開されてきました。現在、このような多様性に基づく創造性こそが、組織や社会で求め

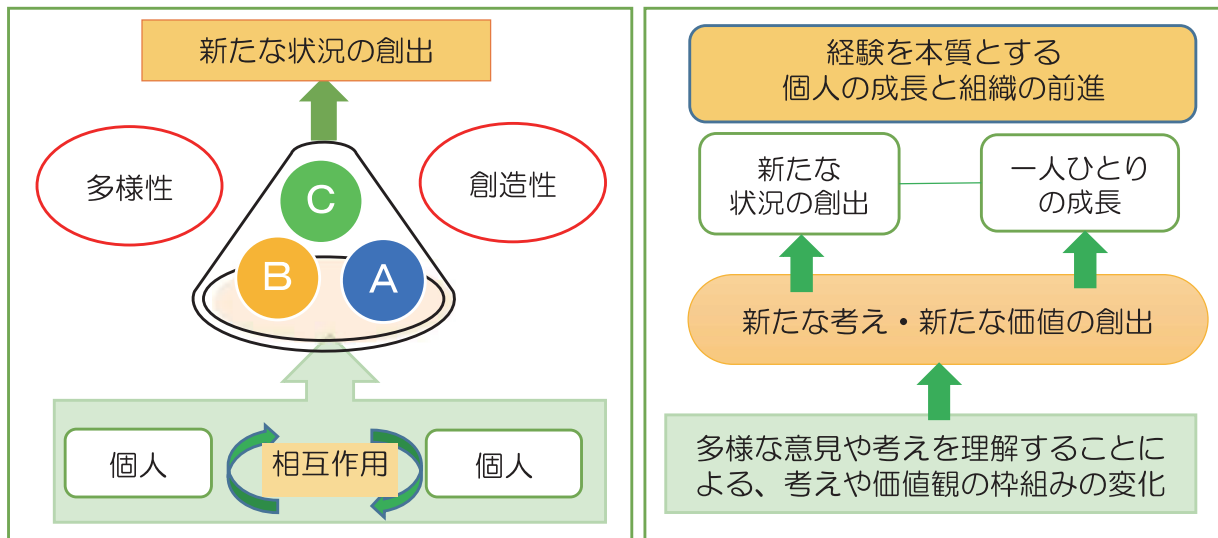
られるものと考えられます。

本研究では、こうした視点から、多様な意見や考えから生じる相異を活かし、それらを統合して、新たな考えや価値を創造する過程を説く経営学の理論に基づいて、「人と人、人と組織の関係」「経験の本質」を軸として、より深い学びと組織や社会の協働の実践について考えていきます。



経験を創造的に することに基づく 新たな状況の創出

- 組織や社会で求められる考え方や力とは何かを考察します。
- 多様性を生かす協働から、地域や企業における問題を乗り越え、新たな状況の創造に貢献していく実践について考えます。



期待される活用シーン

- 新しい考えや価値を創造して
いかなければならない



多様な意見や考えを理解することから、考えや価値観の変化をもたらす

学生の視点を生かして地域経済の課題解決に取り組む、R (Region) プロジェクト大会参加

- 変化に対応できる人が欲しい
- どのようにすれば人を育てているのか



現実の組織や社会で生かせる考え方や力を「経験」から考える

福岡銀行との「金融リテラシー向上に向けた共同取組」に参加

その他の研究テーマ

- 地域や組織における協働の創造性に関する研究
- M.P.フォレットを中心とした経営学史に関する研究
- 経営管理についての哲学的アプローチからの研究